

市民と議会をつなぐ

다들 물어봐
이거 뭐지?

第64号

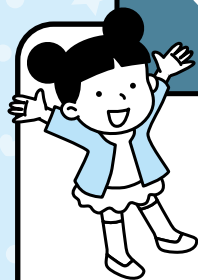
令和7年
3月定例会



まじのひと

「多摩市子ども議会」(多摩市議会議事堂)

／ 思いよ！届け！子ども議会！ ／



多久市内の義務教育学校6年生が議員役を務め「子ども議会」を1月26日に多久市議会議事堂で開催しました。架空の条例案を巡って7人の子ども議員全員が、自分の意見を主張し、真剣な討論が行われました。



議案甲第1号

多久市内義務教育学校に通う児童生徒に対し宿題を課すことを禁止する条例

提案理由

本来「学び」とは、自身で学力の向上を目指すものであり、他人が強制するものではない。本条例は、市内義務教育学校に通う児童生徒に対して宿題を課すことを禁止し、学びは自己責任であることを自覚させ、児童生徒の自立心を育むことにより、学力向上を目指すことを目的とする。



賛成討論

宿題を無くすことで友達と遊ぶ時間ができ、健康になり友達と仲良くなれるから



反対討論

- ・自分で進んで学習しない
- ・子どもの責任にするには厳しい
- ・自分で勉強するのが苦手な人がいる
- ・宿題を選択制にしては？
- ・先生、親に負担をかける
- ・学力が低下したら親に塾に連れていかれる



採 決

今回提案された議案は採決により、

賛成1／反対6 で **否決** されました

〔議員からの感想〕

今回のテーマ、「宿題を課すことを禁止する条例」という子どもにとっては嬉しいであろう議案に対し、否決という結果に正直驚きました。

自己学習が上手くできないという不安感を口にした子ども議員が多かったことは、宿題を無くすことによる学力の低下に対する危機感のあらわれではないかと思います。



～質問一覧～

- ⇒ 市は学力向上を目指しているのに宿題を無くしたら、学力が低下するのではないか？
- ⇒ ドリルの教材費など多久市で負担してくれるのか？
- ⇒ 授業時間が増えたり、休み時間、夏休みが減ったりしないか？
- ⇒ 宿題に代わる取り決めは？



★週3日の放課後「学びの場」の提供について

- ⇒ 週3日の学びの場の決め方は？
- ⇒ 習い事がある人は参加できないのではないか？
- ⇒ 下校時間が遅くなる児童のため、スクールバスなど利用できないか？

★保護者の責任について

- ⇒ 親が忙しいところは大変ではないか？
- ⇒ 家庭の中で課題を出す保護者に対しての制限は？
- ⇒ 今の学習を親が分からないのではないか？

子ども議会を通して

(子ども議員の皆さんにアンケートをとりました)

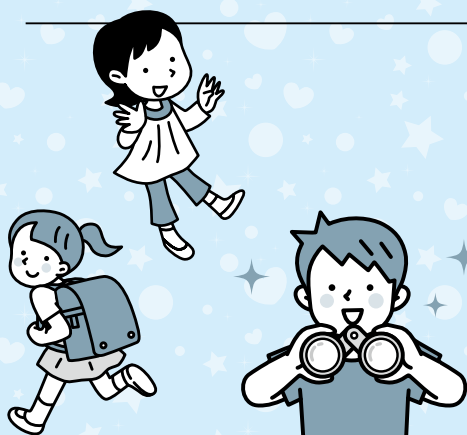
【子ども議会の感想】

- ・すごく緊張したけど、自分の意見をはきはき言えて良かった。
- ・質問したときに回答された人が何を言っているのかあまりわからなかった。でも楽しかった。
- ・皆さん具体的に発言していて、すごいなあと思いました。
- ・とても緊張しました。だけどとても貴重な体験でした。



【もし議員になったら何をしたいか】

- ・少数派の人たちの意見が尊重されるような社会にしたい。
- ・多久をもっと明るくしたい。
- ・学校や施設をもっと良くしたい。
- ・緊張せず、みんなに納得してもらえるような人になる。
- ・今はわからないけど、少しくらい良いほうに傾けたい。
- ・多久の道をきれいにする。
- ・議長席に座ってみたい。



～保護者からの感想～

- ・とてもいい経験になったと思います
- ・はっきり発言出来て頼もしく感じました



令和7年 3月定例会

令和7年3月市議会定例会は、3月4日から24日まで（会期21日間）開かれました。今回は8人の議員が市政一般に対する質問を行い、議案や予算などについて審議を行いました。

市長から提出されました議案33件（条例15件、予算14件、その他4件）について審議し、いずれも原案どおり可決しました。また、議員提出の議案1件を可決しました。

3月定例会の主な議案

（甲議案） 予算以外の議案

多久市グリーンパーク条例の一部を改正する条例

利便性の向上と利用促進を図るため、条例の一部を改正するものです。

（主な内容）

回数券および年間パスポート券の新設
 ・回数券（6枚つづり） 800円
 ・年間パスポート 1,600円
 ともに高校生以下は半額となります



市長および副市長の給料の特例に関する条例

今回の官製談合防止法違反により、職員が罰金刑となる略式命令が出されたことを受け、市長および副市長の任命責任および管理・監督者としての責任を明確にするため給料を削減するための条例です。

（主な内容）

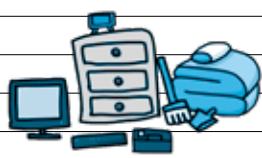
市長…給料月額額の30%を1月減額する
 副市長…給料月額額の20%を1月減額する

指定ごみ袋	現行	改正後
可燃ごみ袋（大）※1袋当たり	40円	45円
可燃ごみ袋（中）※1袋当たり	30円	35円
可燃ごみ袋（小）※1袋当たり	15円	20円
不燃ごみ袋（大）※1袋当たり	30円	35円
不燃ごみ袋（小）※1袋当たり	15円	20円
証紙 ※1枚当たり	30円	40円



※リサイクル袋（大30円/枚・小15円/枚）は現行のまま

自己搬入による処分（家庭系）	現行	改正後
100kgまで	400円	500円
100kgを超え150kgまで	450円	削除
150kgを超える部分50kgにつき	150円	削除
100kgを超える部分50kgにつき	—	250円
粗大ごみ解体手数料	700円	1,000円



自己搬入（事業系）・一般廃棄物処理業者搬入による処分	現行	改正後
100kgまで	770円	1,000円
100kgを超え150kgまで	990円	削除
150kgを超える部分50kgにつき	500円	削除
100kgを超える部分50kgにつき	—	500円

犬、猫などの死体処理手数料	現行	改正後
1体につき	400円	500円

多久市廃棄物の減量推進および適正処理などに関する条例の一部を改正する条例
 前回の改定から5年が経過し、物価高

騰などによる処理費用が増大しているため、手数料を改正するものです。
 （条例の施行日…令和7年10月1日）

(乙議案) 予算に関する議案

令和6年度多久市一般会計補正予算 (第7号)

◆8億2,101万円を減額し、予算総額185億4,588万8千円とする補正予算を、原案どおり可決しました。

令和7年度 多久市一般会計補正予算

(新たな事業)

- ・地域おこし協力隊の増員
- ・定住促進補助金の拡充
- ・保育料の第2子以降の無償化
- ・妊産婦への助成金の拡大
- ・中山間農地ルネサンス推進事業
- ・大阪・関西万博への出展
- ・公園施設長寿命化計画更新事業
- ・ハザードマップの更新
- ・義務教育学校の照明設備のLED化
- ・義務教育学校のパソコンの更新

◆予算総額150億4,000万円とする当初予算を、原案どおり可決しました。(対前年度比▲24億2,000万円13・9%減となっています)
ほか、12件の予算案について原案どおり可決しました。

官製談合防止法違反による市職員逮捕を受けた市議会の対応について

多久市議会では今回の職員逮捕・起訴を受けて、市議会としても事の重大性に鑑み令和7年3月24日に「官製談合事件の検証と再発防止を求める決議」を可決しました。

決議第1号

令和7年2月18日、多久市発注の「令和4年度庭球場照明設備改修工事」をめぐり当時の現職課長が逮捕され、3月11日に略式起訴された事実については、多久市民に大きな衝撃を与え、市政に対する信頼を著しく失墜させる事態となった。

議会は二元代表制の一翼を担い、市政を監視する立場であり、この事態を深刻に受け止めている。改めて議会としての役割と責任を感じるとともに、議員一人一人が責任の重さを自覚し、市民の負託に応えて参ります。

二度とこのような不祥事を繰り返すことの無いよう、市長をはじめとする職員が一層高い意識をもって原因を検証し、情報の管理体制の見直しと入札の公平性確保のための対策強化を確実に行うことで、再発防止の徹底を図るとともに、組織を挙げて服務規律の確保と公務員倫理の確立に努め、市民の信頼回復に向けて取り組むよう強く求めるものである。

以上、決議する。

令和7年3月24日

多 久 市 議 会

議案質疑

提出された議案について、議案の提出者（市長か議員）に対して、議案の内容や提案の理由などについて疑問点や不明な点を尋ねること

香月 正則

■グリーンパークの利便性の向上について



Q グリーンパーク利用者の利便性の向上を図るための改正内容は。

A 施設を通常使用料金よりもお得に利用できる施設利用券、回数券、年間パスポート券を発行できるようにするものです。



Q 設置の目的に市民のスポーツの振興や交流の促進、地域の活性化を図るためとあるが今回の改正でその目的を達成できるか。

A 今回の改正による回数券、年間パスポート券の導入は、お得に利用できリピーターと新規利用者の開拓を行い、施設の利用促進につなげていくための一つの手段として考えています。

Q 民間運営や抜本的な手法変更が必要と思いますが、民間委託など検討をされたのか。

A 今回は民間運営の委託の部分などを含めての検討は行っておりません。

田渕 厚

■中山間地ルネッサンス推進補助金997万6千円について



Q 事業の内容と目的と課題解決がどう図られるのか。

A 国の3年間の事業で、中山間地域の営農と、所得確保の取り組みの創出が目的で、西多久町の中山間地で取り組みます。西多久町は高齢化率が高く、農業の担い手不足で耕作放棄地が進んでいます。そうした課題にイノシシ肉を使ったペットフード、農産物のECサイトを利用した販売、体験型観光ツーリズム、ドローンを重労働に活用する実証実験を行います。

Q この事業を地域でどう反映させるのか、また、この事業は3年間とあるが、その後はどうなるのか。

A どう反映させるかは、西多久テラス合同会社、西多久町を考える会、幡船の里など参加頂き、西多久テラスぶらす協議会を設立し、意識の共有を図る計画です。3年後は県や市が入って、他の事業の施策を考えていきたいと思っています。

鷺崎 義彦

■寄贈図書の有効活用に係る経費751万4千円について



Q 事業の詳細、目的、見込まれる効果は。

A 旧東部校に保管されている滝口康彦氏、細川章氏から寄贈された図書や歴史資料などを、多くの市民に見て触れることのできる機会となるよう、整備を行うものです。見込まれる効果は、細川氏、滝口氏の偉大な功績を再認識いただけたと考えています。

Q 東原庫舎西溪校西図書室の運営形態は。

A 開館時間、日数などは今後検討していきたい。開館時の閲覧の立会いなどは西溪校の学校司書で行いたいと考えています。

Q 今回の事業が蔵書や資料の保管場所移転に終わることなく、市民などの皆さんから取り組んでもらってよかったというような効果あるものとなるよう切望します。

A 文化的価値がある資料や蔵書を見て触れていただくことで、両者の功績を再認識していただきたいと考えています。

渡島 幸司

■ウォールアート推進事業補助金250万円について



Q この事業の詳細は。

A 景観の向上や交流人口の増加、定住促進につなげることを目的とし、市が一般社団法人たく21に補助金として250万円を交付し、同額の250万円を実施主体である一般社団法人たく21が負担し、合計500万円をアートの製作や補修費用に充てるものです。

Q 経済効果は。

A アーティストが一定期間滞在し、アートを制作するため、令和6年度は100泊以上の滞在があり、滞在期間中は市内の飲食店を御利用いただいています。



Q 地域が活性化するような仕掛けなどは。

A グッズや飲食メニューの開発、ウォールアートを周遊することで飲食や施設などをお得に利用できるクーポン券など、多久市の魅力を感じていただき、定住いただけるよう考えています。

一般質問一覧表

多久の
気になる
課題



千北 政利 議員

『多久市の都市計画の状況について』
『公立佐賀中央病院周辺の開発の状況について』
『多久市における下水道事業の計画について』



古賀 公彦 議員

『多久市立病院跡地・跡施設について』
『買い物支援について』



廣橋 時則 議員

『観光について』
『市長の28年間の市政運営について』



坂口 絹代 議員

『带状疱疹ワクチンについて』
『5歳児健診について』
『0歳児から2歳児までの保育料無償化について』



彌富 博幸 議員

『公共施設の現状と今後の計画について』
『子育て支援について』
『市政について』



尾形 武史 議員

『多久市公営住宅長寿命化計画について』



市丸 勝義 議員

『道路等における陥没について』
『チョイソコたぐについて』
『介護・福祉・保育における人材の確保について』



小川 三郎 議員

『多久市のデジタル化の取組について』
『熱中症対策クーリングシェルターについて』
『家庭学習とICT活用について』



公立佐賀中央病院 周辺開発どうするの？

公立佐賀中央病院周辺の開発の状況について

千北 公立佐賀中央病院への交通手段に問題はないか。

答弁 予約型の乗合バス「チョイソコたく」の利用を考えています。また、佐賀唐津線の路線バスも乗り入れるようになっていきます。

千北 病院周辺の民間における土地開発状況は。

答弁 一部において、民間開発が行われている状況ですが、くわしい内容については把握をしていません。



千北 政利 議員

千北 医療関連事業者に、市として補助の考えはないか。

答弁 開院することにより、今後、周辺に民間関連施設が立地されることが想定されます。市として、医療関連にかかわらず、民間による企業誘致について、雇用や地域活性化につながるものとして、立地のあつせんなど、積極的にやっていきたいと考えています。

千北 病院開院による周辺開発が、人口増加のまたとないチャンス、住宅開発などの計画は。

答弁 市として直接開発を行う計画はありません。令和5年度から定住政策の一環として、民間事業者宅地造成支援補助制度を設けていますので、こういった制度を活用していただいて、新たな住宅団地を民間の事業者に行っていただけるよう支援していきたい。

多久市立病院の利活用は どうなるの？

多久市立病院跡地・跡施設について

古賀 市立病院跡地・跡施設の利活用についての進捗状況は。

答弁 既存の施設を生かしての利活用や解体などの手法について検討を進めており、民間事業者からの意見や提案も参考にする必要があります。サウンディング型市場調査を実施しています。

古賀 提案の内容は。

答弁 県内農産物品などの加工、販売、飲食ができる施設、健康食料などの原材料となる植物の栽培や加工、販売を行う施設などの提案がありました。しかしながら、今回はいずれも実施主体は市であり提案者は運営に参画するという事です。また、施設整備ならびに整備後の維持管理などについても市の負担が発生する提案でした。

古賀 跡地の利活用として、道の駅構想を考えては。

答弁 道の駅構想については、一つの案として検討を行っており、地域振興や財政負担などを考慮しながら、

買い物支援について

古賀 宅配サービスを商工会などで業務システム化して補助はできないか。

答弁 佐賀県地域商業活性化支援事業の買物弱者対策事業の活用について研究をしていきたい。

ら、市として今後もさまざまな案を検討していきたい。



古賀 公彦 議員



大丈夫？多久の観光と市政

観光について

廣橋 多久市の観光客の総数は。
答弁 令和5年は45万人です。

廣橋 観光のPRにインフルエンサーなどを使ってみては。
答弁 前向きに検討していきます。

廣橋 多久聖廟の周辺をもっとブラッシュアップするべきでは。
答弁 歴史や文化や自然などが実感出来る体験型観光メニューを充実させていきます。

廣橋 旅行の要素は見る、食べる、遊ぶ、買うと言われるが、多久聖廟周辺の観光は、その要素があまりにも少な過ぎると思うが。
答弁 一般社団法人多久市観光協会や事業者などと連携しながら、充実するよう努めていきます。

廣橋 多久には53篇から成る孔門師弟成績図絵という彩色で孔子の一生を描いた本当に見事な絵があるが、これを陶板にして解説をつければ、すばらしい観光資源になるが。



▲「孔門師弟成績図絵」
多久市郷土資料館所蔵（柴藤行男氏寄贈）

市長の28年間の市政運営について

廣橋 今回の官製談合で職員が逮捕された。28年間というあまりに長い在任の結果、市政の緩みや他市町の首長に比べ著しく多い東京出張など、職員への任せつきりという管理不足の結果とも言えると思うが。
答弁 緩みなくやっていくということを私自身肝に銘じています。



廣橋 時則 議員

答弁 協議し、研究を行っていきます。

県内初！保育料無償化

0歳児から2歳児までの保育料無償化について

坂口 第2子以降の保育料が無償化されるがなぜ第2子以降なのか。
答弁 将来展望人口の達成にむけた取り組みとして、合計特殊出生率を1・52から2・07に向上し、また子育て費用の軽減を望む声に応え、安心して子どもを産み育てる環境を整えるためです。

坂口 多久市に他の市町から通われている園児の人数は。
答弁 796人の園児の内217人。0歳から2歳の市外から通っている園児は99人です。

坂口 無償化の対象は多久市在住となっているが、他の市町から子どもを預けている人へ定住を促す支援と考えているのか。
答弁 多久市を移住先として優先的に選択して頂き、定住支援に繋がるを考えます。

坂口 第2子が生まれた頃にはすでに他の所に家を建ててしまっている。多久市内に家を建て子育てをする。

る若い世代が増えるよう第1子からの保育料無償化の考えは。
答弁 市の負担が増えます。しかし、子育て世帯の支援と定住につながって行くと考えられるので研究を重ねていきます。

坂口 多久市を持続可能な市とするためにも人口減少、少子化対策は何よりも優先するものと考えます。



坂口 絹代 議員



お宝赤ちゃん
一人に100万円支給を

公共施設の現状と今後の計画
について

彌富 現施設の利用の現状、実態を現実的にとらえて、土地や施設の売却も含め、利用推測を考え、場当たり的でなく、しっかりした利用計画を提案するべきでは。

答弁 サウンディング調査の提案も参考にして、売却、賃貸も選択肢として慎重に検討を行っていきます。

子育て支援について

彌富 新たな子育て支援策として「新生児一人に対して100万円支給」。ふるさと振興基金を集中して活用し、出産や新生児への更なる支援の充実を検討しては。

答弁 継続、持続可能であるかについて財源など含めて今後検討していきたいと考えています。

市政について

彌富 市長の出張内容を市民が分かるように周知方法の改善を約束して頂きたい。



答弁 今後は、分かりやすくする工夫を考えていきます。



彌富 博幸 議員

どうする？
老朽化が進む公営住宅

多久市公営住宅長寿命化計画
について

尾形 令和4年3月策定の多久市公営住宅長寿命化計画の進捗は。

答弁 施設の長寿命化を基本としつつ、居住環境の質的改善も考慮しながら改修工事を進めるように取り組んでいます。

尾形 現在改修中の砂原団地の状況は。

答弁 6年度から改修工事に着手していますが、解体作業中にシロアリによる被害が確認されたため、シロアリ駆除を優先し、改修工事を一時中断しています。改修工事の再開は令和7年7月と見込んでおり、令和9年度に事業完了する計画となっています。

尾形 砂原団地改修では外壁改修やハト対策の実施予定は。

答弁 必要な部分については実施を予定しています。

尾形 長寿命化計画では建替えの予定はないが、必要では。



答弁 本計画を見直す際には十分な検討を行いながら、建替えも含めた見直しを考えているところです。

尾形 見直しの際、低層階での建替えを検討してみてもどうか。

答弁 高齢化などによって低層階を希望される人が増加していますので、本計画を見直す際には低層階への建替えも含めて検討をしていきます。



尾形 武史 議員

多久の道路は安全ですか？

道路などにおける陥没について

市丸 多久市での道路陥没事故の発生状況は。

答弁 国道・県道・市道において近年道路陥没は発生しておらず、陥没による車両事故や人身事故も発生していません。

市丸 道路下の空洞調査の状況は。

答弁 国道や県道は、過去の空洞確認の実態や、地下の埋設物の状況によって空洞探査車を用いて調査を行なわれていますが、市道については行っていません。

市丸 多久市で下水道管破損による陥没が発生する可能性は。

答弁 埼玉県の事故は、42年経過した地下約10メートルに埋設された内径4・75メートルの下水道管でした。一方、多久市の下水道管は最大で内径0・8メートル、経過年数は古いところで19年ほどですので、同規模の事故が発生する可能性は低いと考えています。

市丸 費用はかかるが、空洞調査を市民の安全を守るために行う考え



市丸 他県において道路陥没事故が発生しましたので、市民の安心・安全を担保するために、市道などの空洞調査の必要性を訴えました。

答弁 日常的なパトロールおよび定期的な路面性状などの調査で路面の異常や状態を確認し、これを徹底したいと思います。道路占用物件以外にも横断暗渠などの埋設物もありますので、通行量の多い市道につきましては、空洞調査を行うことを検討したいと考えています。



市丸 勝義 議員

ご注意ください！ デジタル詐欺

多久市デジタル化について

小川 デジタル化の進捗とともに、詐欺事件なども増加している。特に、オンライン詐欺やフィッシング詐欺などの不正アクセスなどの問題が多くなってきた。しっかりと対応する窓口はあるのか。

答弁 オンライン詐欺の相談件数も増えており、市では毎週月曜日、水曜日、木曜日には消費生活相談員を配置し、相談内容の解決に向けた支援を行っています。

小川 ICT教育にはネットワーク通信や端末、タブレットを使つての学習で、子どもたちの読書量の減少や手書きをする機会が失われて、学習が定着する能力が減っていると聞か。

答弁 懸念されている点について、手書きで学習する機会は学年に応じて適切に設定しており、漢字や計算の学習、論理的に考えをまとめて文章にして表すときにはノートやプリントを使って書き留めています。知識の習得や思考の深まりにもつながっています。多様な学習場面を設定して、今後も個に応じた学習、協働

的な学び、家庭学習の充実を図り、身につけさせたい資質、能力の育成に取り組んでいきます。



小川 三郎 議員



あッ!

—多久で見つけた— No.4

まぢのひと



社名 MokuMoku
住所 多久市東多久町古賀3区
氏名 大石 浩平 (39歳)
営業時間 10:00~17:30
定休日 不定休
電話番号 090-9727-0014
事業内容 ウェブデザイン、システム、イラスト、
 動画などパソコンで何でも作ります。

Q.起業したキッカケは

A.IT企業で働いている時、子どもが生まれ、子どもと関わる時間を大切にしたいとの思いから。

Q.多久の好きな所

A.のんびりしていて余裕がある所、文教（歴史・芸術）に力を入れられているところ。

Q.多久市に望むこと

A.地方ならではの価値観を大切に。皆で町づくりに関わっている実感がわくような仕組み・制度を作してほしい。

Q.更なる夢

A.地域の人が集える様な居場所を作りたい。



一言メッセージ

地元のための仕事も
もっと頑張りたい



論語大学⑦

「徳は孤ならず」

論語の中では比較的よく知られた言葉である。「徳を積めば、孤立することなく、必ず、よく理解してくれる友人、知己がでくるものだ」という意味で、信念に満ちた言葉である。しかし、孔子は自分の直接の弟子を除いては、孔子の説く徳は在世中に理解されることは少なく、特に政治の実権を握る諸國の王には容認されず、三十数年にわたる悲劇的な放浪の旅を続けなければならなかった。いかに、有徳の孔子ではあっても、いや、それゆえに、弱肉強食の戦乱に明け暮れる春秋時代では敬遠され、孤立した。

徳、すなわち「人類の意志に最も敵う心がけをもつて行動する人格」は、長い人類の歴史を通じて必ず誰かが求めて、ついでくる。理想は実現されないからと言って、無用ではない。諸行は無常である。無常なるがゆえに、無常でない永遠の理想として徳の実現が人間の使命であることを囁きかける。

事実、釈迦、孔子、キリスト……こうした聖人と呼ばれる人々の行動は、二千年の歴史の中ですます、光芒を放っていく。まさに「徳不孤、必有隣」である。

▶「孔門師弟成績図絵」
 多久市郷土資料館所蔵
 (柴藤行男氏寄贈)



論語大学について

かつて、私たちの郷土・多久は先人たちの努力により佐賀藩内はもちろん諸藩に先駆けて邑校・東原庫舎、そして聖廟を建立。この地に「文教の里」を作り上げた。今一度、私たちは先人たちの血のにじむような努力を思い起こし、その実行に努めるべきではないでしょうか。その願いを込め、元学校長 故・不二見達朗氏が30数年前に多久市報に連載寄稿した論語解説を復刻するものです。

